

水稻 直播栽培 情報

-第1号-

栽培管理のポイント

- (1) ほ場の均平化と適切な水管理
⇒ 出芽・苗立ちの向上
- (2) 除草剤を適期に散布
⇒ 雑草の防除により収量を向上

令和4年4月
氷見市農業技術者協議会



1 代かき作業

- (1) 代かき時の水は少なめとし、練りすぎない（特にほ場の枕地）。

2 播種時の土壌硬度

- (1) 高さ1mの位置からゴルフボールを落下させ、埋没した深さで判断する。



田面0cm以上
鉄コーティングに適正



田面0～1cm
カルパーに適正



田面-1cm以上
両播種様式とも不適

※リゾケアは、どの土壌硬度でも可能

田面が軟らかい場合

落水状態をしばらく保つ

額縁排水溝を設置する

田面が硬い場合

通水する

3 播種

- (1) 代かきから播種までの日数は3～4日間程度とする。
- (2) カルパーコーティング種子（定温処理済み）は、時間が経つと出芽促進効果がなくなるため、引取り当日中に播種する。
- (3) 種子、肥料が均等に落下（ホッパー内が均等に減少）しているか確認しながら作業を実施する。
※鉄コーティングは、種子が1箇所当り5～7粒落ちているか確認する。
- (4) 播種直後からの水管理は、
カルパー：播種後は直ちに額縁排水溝を掘るとともに、停滞水がある箇所は溝掘りを行い、排水に努める。
播種後約7日間（出芽期まで）は落水し、足が2～3cmしか沈まない程度に田干しを行う。
田干し後は速やかに入水し、苗立ちを促す。
鉄：播種と同時に除草剤を散布するため、7日間は湛水状態とする。
リゾケア：出芽を確認するまで（7～14日程度）湛水状態をたもつ

4 除草剤の適期散布（カルパー）

- (1) 除草剤はヒエを取りこぼさないよう、早めに散布する。
- (2) 散布後5日間は湛水状態を維持し、7日間は落水やかけ流しをしない。

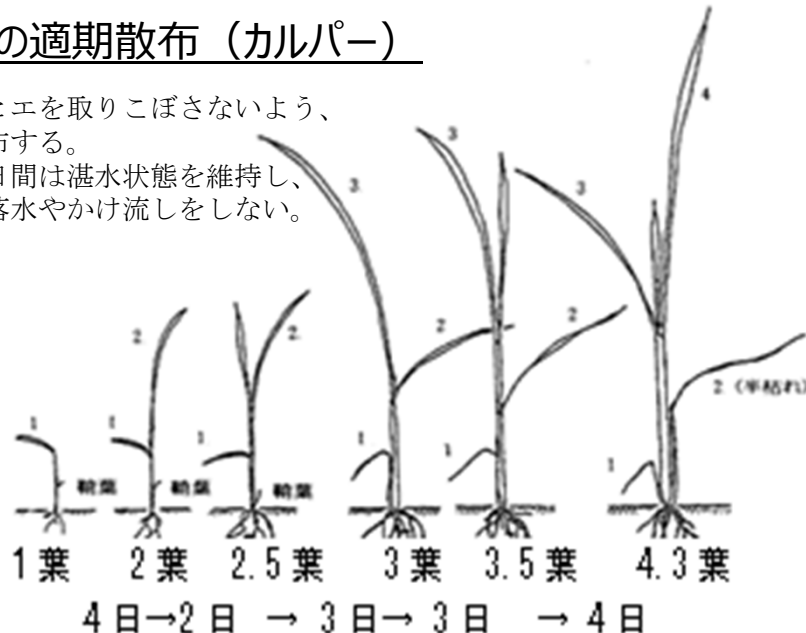


図 ノビエ葉齢の数え方と日数の目安

除草剤名	使用時期	使用量
ボデーガードプロ1キロ粒剤	播種時～ノビエ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで	1 kg/10 a
エンペラー1キロ粒剤	稲出芽揃期～ノビエ3.0葉期 ただし、収穫75日前まで	

5 鳥害対策

- (1) 鳥害が予想される場合は、播種後のほ場に水糸を張るなど、被害防止対策を行う。